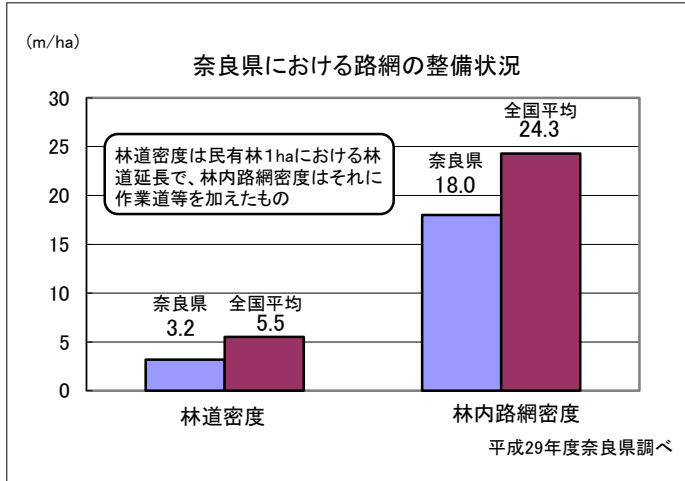


奈良県における取組

1 路網整備の状況

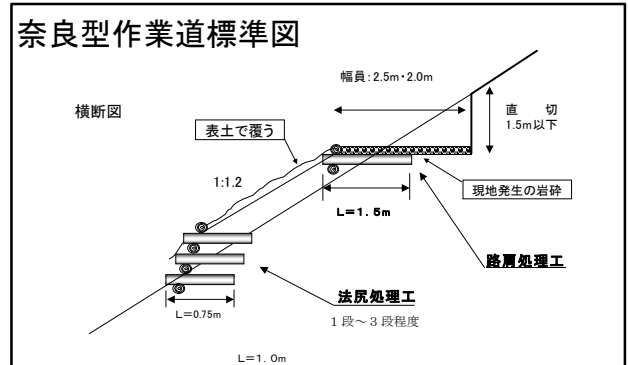


■効率的な林業経営の展開、森林の適正な維持管理、森林の総合利用の推進にとって**林道等の路網整備は必要不可欠**である。

■紀伊山地など急峻な地形が多い奈良県の**林内路網密度は、全国平均よりも低位な状況**である。

■路網の中で基幹となる林道の整備については、**市町村等への補助林道開設事業、補助林道改良事業等により進めている**。また、**広域的な林道については、県代行による県営林道開設事業により取り組んでいる**。

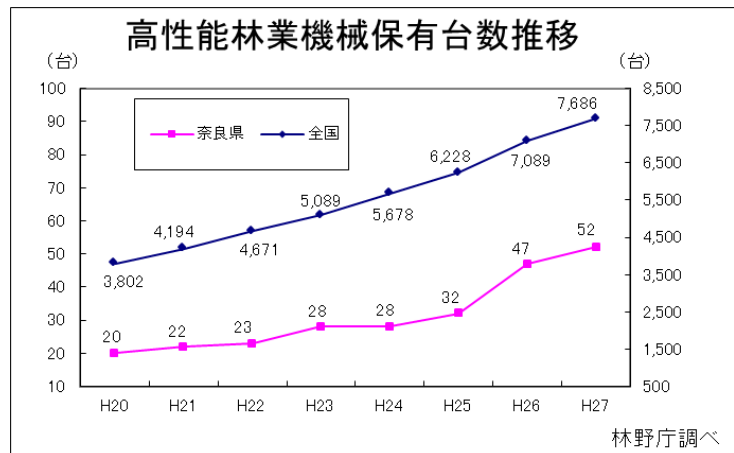
■作業道については、まとまった森林施業区域において**奈良県独自の作業道「奈良型作業道」の重点整備を進めている**。



2 林業機械の普及状況

■高性能林業機械等の導入支援を図り、木材生産の拡大と低コスト化を進めている。

県内の保有台数は増加傾向だが、全国順位は低位な状況である。(平成27年度末 全国39位)



■ 参考 今後の奈良県の取り組み

・スイスのフォレスターからの助言により、森林環境管理に資する持続可能な森林経営を目指す。そのためには、**①路網整備、②機械化、③人材育成等**により森林の生産性を高める必要がある。

国にお願いすること

- ・林業を成長産業化するため、林業の生産基盤である林道や作業道などの路網の整備、高性能林業機械の導入などが急務である。
- ・このため、これらの事業について、**十分かつ安定的な財源を確保することを要望する。**



林道高野辻阪本線(五條市大塔町殿野)



グラブ付きトラックによる木材の積込



自走式による最新の木材搬出機械

国費財源

- ・農山漁村地域整備交付金
- ・地方創生道整備推進交付金
- ・森林環境保全直接支援事業
- ・林業・木材産業成長産業化促進対策交付金